



高田病後児保育所「ぬくみ」 掲示板



【9月のテーマ】

こどもの発疹

高田病後児保育所スタッフより

子どもの発疹は見た目だけでは原因が何かわかりません。様々な病気につながっており、感染する病気の場合もあります。まず、発疹がでたら、身体の中のどの方角にあるか、どの順番に広がっているか、発疹のほかに熱やかゆみ、痛みはあるかなどチェックしましょう。受診するときに状況を説明するのに役立ちます。

発疹の種類 発疹は発熱を伴うものとそうでないものがあります

【発熱を伴わないもの】 皮膚以外に症状がなく、熱もない場合

- ・ かぶれやあせもの肌トラブル
- ・ 細菌の侵入によるとびひ（水疱ができ、つぶすと広がるので触らないことが大切です）
- ・ アレルギーによるじんましん など

【発熱を伴う発疹】 発疹とともに発熱がある場合

ウイルス・細菌などによる感染症などが考えられます

はしか、水ぼうそう、風疹、溶連菌感染症、りんご病、突発性発疹、手足口病、ヘルパンギーナ、とびひ（悪化した状態：伝染性膿痂疹） など

🏠おうちでのケア🏠

かゆみ対策と悪化させないことが大切🍀

- * かゆみがあるときは、薬を処方してもらい医師の指示通りに薬を使いましょう。
- * かゆいところを温めるとかゆみが増してしまいます。直射日光も避け、冷たいタオルなどで冷やしてあげましょう。
- * 掻いてしまうことで、細菌が入ったり発疹が広がったりすることがあるため、患部を布で覆ったり、爪を短く切っておくとよいでしょう。

入浴について🛀

- * 発疹が出ているときも入浴は可能ですが、発疹がひどい場合や発熱がある場合などは入浴を控え、身体を拭くか、シャワーで簡単に流す程度にとどめましょう。
- * 洗う場合は石鹸をよく泡立てて手でやさしくなでるように洗い、しっかり流しましょう。
- * お湯につかる場合はぬるめのお湯にして短時間であがるようにしましょう。



